

看護学科

科目名: 高齢者看護学実習 I				担当教員 氏名: 今川 孝枝 荒木晴美 他		
単 位	開講時期(年次・期)	科目の区分	授業方法	(卒業要件) 必修/選択	備考	
2	2年次 後期	専門科目	実習	必修		
実務経験を用いてどのような授業を行っているか: 看護師の実務経験を活かして、看護の場や対象の理解と現状について教授する。						
授業科目の学習教育目標の概要:					キーワード	
高齢者の特性を理解し、高齢者の健康レベルやライフサイクルの視点から健康上の問題を考え、解決のための援助を理解し実施する。また、高齢者の生活を支援する方法と看護が果たす役割について学ぶ。					高齢者の特性 生活支援	健康レベル 看護の役割
授業における学修の到達目標						
学習教育目標 (卒業認定・学位授与の方針との関連)			自己形成を進める行動目標 (福短マトリックスで示される番号)		2. 5. 6. 9	
A 知識・理解力		生活の場で高齢者と関わり、特性に合わせ援助する方法と看護師の役割を知る。				
B 専門的技術		個々の健康レベルに合わせ、生理的欲求に関わるニーズに応えることができる。				
C 論理的思考力		看護行為にあたり、その根拠を述べることができる。				
G 倫理観		高齢者の尊厳を大切にされた態度で接し、個人のプライバシーを守る配慮ができる。				
H コミュニケーション力		高齢者の特性に合わせた交流を持つことができる。				
成績評価の方法・基準: 以下の方法により評価し、学則および履修要項に従い、60点以上を単位認定とする						
テスト:	%	レポート:	%	発表:	%	実技試験: % その他: 実習記録 100 % 態度
特記事項: 「聞き書き」を実践し、1冊の冊子を作成する。						
アクティブラーニング要素: 課題解決型学習 <u>ディスカッション、ディベート</u> <u>グループワーク</u> プレゼンテーション <u>実習、フィールドワーク</u>						
テスト・レポート・発表・実技試験等の実施時期:						
課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法: 実習記録は毎日教員が確認、指導する。						
授 業 計 画				準備学習(予習・復習等)		
				学習内容	学習に必要な時間(分)	
実習期間: 2学年後期(3週間)				【予習】 事前課題(実習前に提示) 実習中、適宜追加学習	【予習】120分 【復習】120分	
実習施設: 富山県内の介護老人福祉施設および介護老人保健施設				【復習】 実習の振り返り学習(学内)		
* 詳細については実習要項に記載、オリエンテーションで説明する						
使用テキスト: ①北川公子著代表: 系統別看護学講座専門分野Ⅱ老年看護学(医学書院)ISBN978-4-260-03186-8 ②鳥羽研二他: 系統別看護学講座専門分野Ⅱ 老年看護病態・疾患論(医学書院)ISBN978-4-260-03172-1 ③小田豊二他著: ワークブック「聞き書き」を始めよう(木犀舎)ISBN978-4-901483-75-9C0037				その他参考文献など:		
受講上の留意点(担当者からのメッセージ): 体調を整え実習に望んでください。						